

ご用命・お問い合わせ先
アペックス産業株式会社
電話 03-3455-6474
FAX 03-3455-6558

〈詳しいご案内は当社のホームページをご覧ください〉
URL <http://www.apex-sangyo.jp>

●切り取って保存してご利用ください。

ギャラリー

『東京マンダラ・TOKYO Mandala』写真展より

塩澤秀樹



塩澤秀樹 (シオザワヒデキ)
1962年東京都生まれ。指揮者・西本智実氏を撮影。
写真集『西本智実・31歳の新星 日本とロシアと』(ソフトバンクパブリッシング)を上梓する。
詩人、作曲家、歌手の小椋佳氏のオフィシャルフォトグラファー。

たそがれ

作者寸評

『東京マンダラ(TOKYO Mandala) 塩澤秀樹写真展』は、2021年11月24日～12月5日に、「ギャラリー・エフ/浅草」で開催させていただきました。江戸時代の土蔵を改修したアートギャラリーですが、2021年末で閉鎖されました。蔵は、調布にある深大寺に移築される予定です。
『今、心に刺さる東京の姿を撮影しています。歩けば歩くほど、ああ自分は東京を知らなかったんだと、思い知らされます。生まれ故郷である東京。そこには誰にも気づかれない小宇宙がありました』写真を撮り続け、伝えていきたいと存じます。



「鎌倉殿」ゆかりの西應寺
当社の地主さんは「鎌倉殿」ゆかりの西應寺です。同寺は一三六八年、鎌倉幕府の第十四代執権・北条高時の末娘・時姫によって創建されました。
その後、高時は新田義貞に攻められ自刃、当時二歳だった時姫は、ただひとり難を逃れ、十歳になって、高時をはじめ、一門の悲惨な終焉の模様を伝え聞き、仏門に入りこの地で開山しました。
徳川家康公が関東八カ国の領主として江戸に入るときに、この寺で休息をとり、その後、寺領を賜ったと伝えられています。
安政五年(一八五八)にオランダ公使館が寺内に置かれました。隣地は薩摩藩上屋敷で、寺の横の堀割から物資が荷揚げされていました。幕末には薩摩藩邸の焼き討ち、関東大震災、第二次大戦による空襲で焼失しましたが、その都度再建され今日に至っています。

むし籠

五十年ぶりに登場の 新ゴキブリ防除用液剤

日本の殺虫剤において、ゴキブリ防除用液剤は、五十年前から、有機リン系、ピレスロイド系、カーバメイト系の三系統しか存在していませんでした。これらの液剤を使用し続けた結果、既存の殺虫剤に抵抗性をもつゴキブリが出現しました。
特に飲食店の厨房などで繁殖するチャバネゴキブリは、同じ薬剤を長期使用し続けたことで、薬剤耐性がある個体が子孫を残し、強力な抵抗性をもつものが存在しています。こうした抵抗性チャバネゴキブリの存在により、我々PCOにとっても防除が難しい現場が出ていました。当社も開発に協力して、昨年、三井化学アグロ株式会社より新系統のメタジアミド系液剤「ベクトロンドL」が販売されました。

ゴキブリの潜む場所への連鎖効果、長期の残効性、低臭・低刺激で、処面の薬剤痕が目立ちにくく、低魚毒性で環境負荷が小さい等の特徴があり、これまで苦労してきた抵抗性チャバネゴキブリにも効果を見込めます。
ゴキブリ防除は、薬だけに頼ることなく、清掃などの環境対策も非常に重要ですが、今回防除ツールに新たな選択肢が加わることとなり、今後の衛生管理に期待が持てます。

虫めがね

ペストコントロールの仕事

新型コロナウイルスがなかなか収まりません。これに乗じて、いかげんな方法で法外な価格を要求する、いわゆる業者が目につきます。

また、昨年食品衛生法が改正され、すべての食品事業者は、食品による危害を、あらかじめ予防するHACCP(ハサップ)による衛生管理が義務化されました。Aで、ねずみ害虫防除を専門業者に委託する場合は、建築物衛生法の建築物ねずみ害虫等防除業の登録をした事業所に委託するようになると答えています。

このような状況を踏まえて、さる三月三日に、参院予算委員会と和田政宗議員が、
①消毒などを行っているペストコントロールの事業者は法的な登録制度や公的な資格制度が必要ではないか、
②総務省の職業分類に記載することが必要ではないか、
と質問しました。これに対して、
①では後藤厚労大臣が、まずは関係団体にヒヤリングして標準的な作業手順を確立し、依頼者が適切な事業者であることを確認できるように支援していきたい、
②では金子総務大臣が、事業がひとまとめで扱えるか、一定の規模を有しているか等を含めて判断したい、と答弁されました。社会に広く認知され、信頼されること、私達ペストコントロール業界の悲願です。

オオナガシバンムシ



おじやま虫

Q&A

Q オオナガシバンムシはどんな虫ですか?

A 日本特有種とされ、成虫は五〜七ミリ内外。赤褐色から暗褐色で黄白色の微毛で覆われています。幼虫は建築物の柱などの材中を不規則に食害し、被害材内部は幼虫の糞や齧りつた木材が粉状になっています。

Q どのような被害がありますか?

A 幼虫は建築物の建材を食害するため、シロアリのように建材内部が空洞になります。そのため、床の陥没や踏み抜きといった被害が報告されています。

また、シロアリは腐朽木材を好む傾向がありますが、オオナガシバンムシはブナ、スギ、ヒノキをはじめとして、多くの建材を加害します。

Q 対策はどうしたらいいですか?

A 床陥没や床板踏み抜きにより、オオナガシバンムシの生息が発覚することが多く、このような状態になってからでは、被害材の取替えを含め、専門業者による大がかりな駆除作業が必要になってきます。

被害発覚の数年前から、必ず室内で成虫が目撃されるようになるため、早期発見が重要です。